

2 学年通信 「キセキ」



岩手県立盛岡第三高等学校 2 学年
令和 3 年 1 月 1 2 日(火) 発行 Vol.60



三高マスコット「トナンくん」

今回は、2 学年進路講演会(12/20)について紹介します。

2 学年進路講演会

12 月 20 日(日)に富士大学・山形大学教授の鈴木
てるひこ
晃彦先生を講師に迎え、2 学年進路講演会が行われ
ました。鈴木先生には昨年も進路講演会をしていた
だいております(昨年度のキセキ Vol.34)。講演で
しせいむきょう
は、「志生夢叶」という演題で 1 2 0 分の講演をし
ていただき、これからの高校生活をどのような意識
を持って送れば良いのか、夢を持ち、その夢に向かって一生懸命に努力する大切さ、
凡事徹底の重要性、授業に対する姿勢、親への感謝についてお話ししていただきま
した。



円井は何度も鈴木先生の講演を聴いていますが、今回も心が熱くなり、自分もや
らなければ!と奮起させられました。鈴木先生は鵬 7 回生であり、講演会後に「や
っぱり自分の母校だといつも以上に力が入る。今日は 120%の力で授業(講演)し
た。」とおっしゃっておいりました。

裏面に生徒の感想から特に印象に残ったキーワードで多かったものを載せており
ます。キーワードの意味はご子息にどんどん質問し、講演の内容を少しでも知って
いただければ幸いです。

学年としては来年度の 3 学年 PTA で保護者の皆様にも鈴木先生の講演を聴いてい
ただく機会を設けたいと現在計画中です。

学年通信バックナンバーはこちら→



進路講演会の生徒感想より

- 今日から帰宅後、30 分間、学校の空気をそのまま持ち帰って家でも集中できる環
境を作ります。
- 「今日は魂の独立記念日」と言われたが、私は「自分への妥協」からの独立記念日に
します。
- 「志生夢叶」という言葉を聞いて、なんか身体の内側からふつつつと自信がでてき
ました。他人の目なんて気にしないで、自分の思うように生きれば良いと思うこと
ができました。
- 様々な所で支えてもらっている親に対して感謝の気持ちを忘れず、全力で頑張るこ
とで恩返ししていきたい。
- 鈴木先生の言葉で「意欲は能力を凌駕する」とあったように、来年、自分は限界を
超えたと言っていることができるように、頑張っていきたい。
- What is our happienns?を追及するために大学で学んだよという言葉を受けて、
人それぞれ大学で違う分野を学んでも、最終的に目指すものは一緒だとわかった。
- 今日の授業を受けて、自分はいかに多くの人に支えられ、どれだけ恵まれてた環境
に身を置いているのかを再確認することができた。
- 「リミッターを外せ!」という言葉ですが、私は「限界突破」という言葉が嫌いで
す。なぜなら限界は限界だからです。ですが、「元々リミッターなんて付けなきゃい
いんだ」ということに気づきました。限界を決めつけずにこれから頑張ります。
- 夢をもっている私たちは、夢実現の種があるということ、その種をどう生かすかの
行動次第でこれからの道が変わっていくのだと感じました。
- 先のために今を積むよりも、今を積んで先に活かそうと思います。今生きている一
秒一秒を、できる限り価値のあるものにしようと思います。きっとこの行動に一番価
値があると思います。

進路講演会で印象に残ったキーワード（生徒感想から）

- 凡事徹底
- 志生夢叶
- 文武一道
- 青かびパン
- 勇気 100%
- 情報の変換
- 教科を絞るな
- 授業はライブ
- 自分を裏切るな
- 学びに損得はない
- リミッターを外せ！
- 帰宅後 30分勉強
- 自分に負荷をかける
- 夢は舞い降りてくる
- 滑り止めは受けるな
- 今日は魂の独立記念日
- 意欲は能力を凌駕する
- いつになっても未熟者
- タイムマネジメントカ
- 知識の消費者から生産者へ
- ドリカムルームをつくろう
- タイムリーに行動に変換する
- 夢には叶う種が含まれている

- 親はサポーター、親の無償の愛
- 引き出しを引き出せるような学習
- 夢実現の DNA は人間にしかない
- 蟻の目だけでなく、鷹の目も必要
- カレンダーと使い切ったボールペン
- おかげじゃなくておにぎり型の学習
- 一日一日悔いが残らないように過ごす
- NATO(No Action Talk Only)になるな
- 2020年4月 あなたはどこにいるのか？
自分が一番惚れた Stage 一番輝く Stage 立身出世する Stage
- 二軍は経験を積むところ、一軍は結果を出すところ
- 3日坊主が10回あれば、30日やったことになる
- 土（三高）、水（先生）、太陽（友達）がそろっている
- 高校生の勉強は仕事、部活は自分を高めるためのボランティア
- 広く深く考える、発想する、先を読む、コミュニケーションをとる
- 自分のために頑張れない奴が、
どうして人のために頑張れるというのか！
- Fly to the future
- Never say “Never”!
- Seeding for tomorrow
- Don't Sleep through Life!
- input → intake → out put